

2019. 3. 1

## 第2回患者のための薬局ビジョン推進会議について

栃木県保健福祉部薬務課

# 薬局の在宅医療ファーストステップ事業 (H30年度モデル事業)

## 目的

- 地域包括ケアシステムの中で、かかりつけ薬剤師・薬局が地域のチーム医療の一員として、服薬情報の一元的・継続的な把握や在宅での対応を含む薬学的管理・指導等の機能を果たすためのスキルアップを目的とする。

## 本県が取り組むモデル事業

基礎作り

I 薬局ビジョン推進のための多職種連携ネットワークの構築

在宅医療推進協議会を活用して「患者のための薬局ビジョン推進会議」を開催

II 市町・関係専門職種への薬剤師業務PR事業

実践

III 在宅訪問薬剤師の人材育成事業

IV 薬剤師訪問ファーストステップ事業

栃木県薬剤師会に委託し、モデル地区8カ所（宇都宮・鹿沼・日光・小山・栃木・大田原・足利・佐野）の地域薬剤師会が実施

<セカンド ステップ>

H31年度以降 県全体への展開を目指す！

# § 栃木県が取り組むモデル事業の概要

基礎作り  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
実践

## I 薬局ビジョン推進のための多職種連携ネットワークの構築

「患者のための薬局ビジョン」を推進するため、関係市町及び多職種の関係団体間の緊密なネットワークを構築することを目的に、「患者のための薬局ビジョン推進会議」を設置する。

## II 関係専門職種への薬剤師業務PR事業

在宅医療・介護連携を推進する市町が実施する在宅に関する研修会や訪問看護師・ケアマネジャー等の多職種が実施する研修会等の機会を捉え、市町及び関係専門職種と薬剤師の連携が密になるよう薬剤師業務のPRを行う。  
\*PR内容:嚥下困難者への服薬方法の検討など

## III 在宅訪問薬剤師の人材育成事業

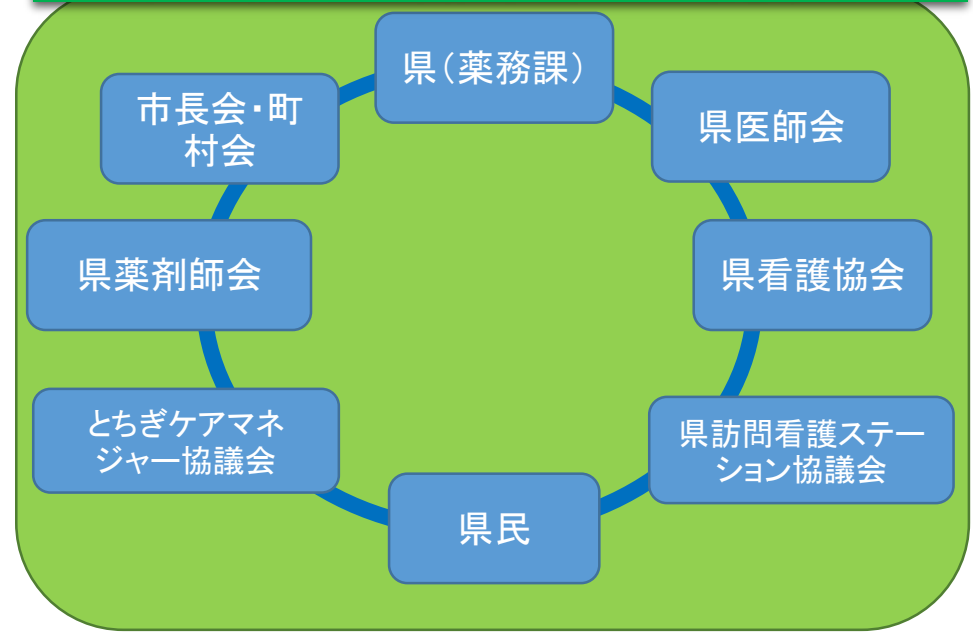
在宅訪問の経験がない又は経験の浅い薬剤師が、在宅訪問の経験豊富な薬剤師に同行し、OJTで指導・助言を行う実践形式の研修を行う。

## IV 薬剤師訪問ファーストステップ事業

在宅医療を受けている患者で薬学的管理に問題がみられる場合に、在宅医からの指示や薬剤師の気づきに加えて、訪問看護師やケアマネジャー等多職種から薬局に情報提供をしてもらい、薬剤師がかかりつけ医の了解のもと、患者宅に訪問する。

## 患者のための薬局ビジョン推進会議

### 栃木県在宅医療推進協議会の場を活用



- II 関係専門職種への薬剤師業務PR事業
- III 在宅訪問薬剤師の人材育成事業
- IV 薬剤師訪問ファーストステップ事業

# § 栃木県が取り組むモデル事業の概要（基礎作り事業）

## I 薬局ビジョン推進のための多職種連携ネットワークの構築

「患者のための薬局ビジョン」を推進するため、関係市町及び多職種の関係団体間の緊密なネットワークを構築することを目的に、「患者のための薬局ビジョン推進会議」を設置する。

本会議体により円滑に事業を実施し、事業効果の検証を行うとともに、県全体への展開を検討する。

### 【患者のための薬局ビジョン推進会議の設置】

#### ○実施主体

- ・ 栃木県（事務局：薬務課）

#### ○構成機関及び団体

- ・ モデル地区の市町、県医師会、県薬剤師会、県看護協会、県訪問看護ステーション協議会、とちぎケアマネジャー協議会、県民

#### ○内容

- ・ 事業実施に向けた情報共有
- ・ 事業効果の検証及び課題の抽出
- ・ 県全体への展開を図るための方策の検討

## II 市町・関係専門職種への薬剤師業務PR事業

在宅医療・介護連携を推進する市町が実施する在宅に関する研修会や訪問看護師・ケアマネジャー等の多職種が実施する研修会等の機会を捉え、市町及び関係専門職種と薬剤師の連携が密になるよう薬剤師業務のPRを行うとともに、「顔の見える関係」を構築する。



#### ○実施主体

- ・ 県薬剤師会
- 参加依頼機関・団体
  - ・ 訪問看護師、ケアマネジャー関係団体
  - ・ モデル地区の市町在宅事業所管課

#### ○PR内容

- ・ 在宅における薬剤師の役割について
- ・ 嚥下困難者への服薬方法の検討
- ・ 実践事業（事業Ⅲ・Ⅳ）の実施に向けた事業協力依頼

#### ○啓発資材

- ・ 在宅訪問薬剤管理指導関係のパンフレット等テーマによって適宜作成

#### ○その他

- ・ 多職種が開催する研修会への参加することを基本とする。
- ・ 県薬剤師会が主催者となって多職種参加型の研修会の実施も検討する。（単なる座学ではなく、グループ討議の内容を検討する。）

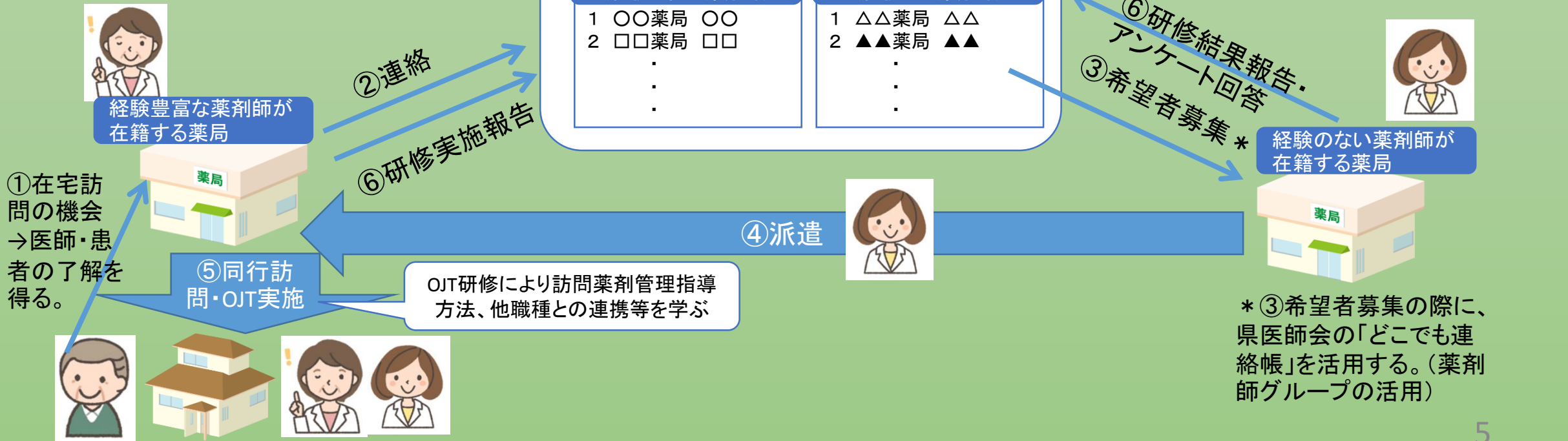
# § 栃木県が取り組むモデル事業の概要（実践的事業）

## Ⅲ 在宅訪問薬剤師の人材育成事業

在宅訪問の経験がない又は経験の浅い薬剤師が、在宅訪問の経験豊富な薬剤師に同行し、OJTで指導・助言を行う実践形式の研修を行う。

講師薬剤師が担当する在宅患者宅に訪問する

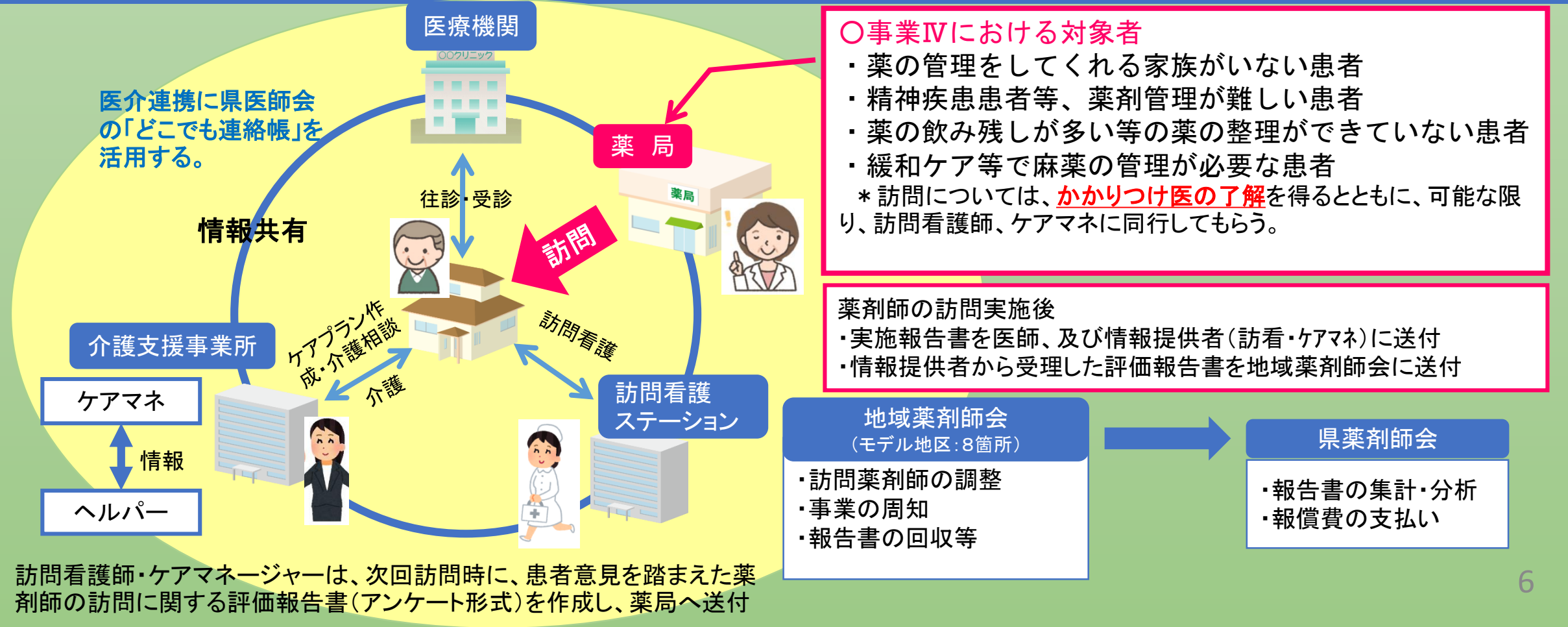
対象：既に在宅へ訪問している患者



# § 栃木県が取り組むモデル事業の概要（実践的事業）

## IV 薬剤師訪問ファーストステップ事業

在宅医療を受けている患者で薬学的管理に問題がみられる場合に、在宅医からの指示（保険適用となる場合は本事業対象外）や薬剤師の気づきに加えて、訪問看護師やケアマネジャー等多職種から薬局（地域薬剤師会の担当者）に情報提供をしてもらい、薬剤師がかかりつけ医の了解のもと、患者宅に訪問する。



## Ⅱ 関係専門職種への薬剤師業務PR事業実績 (平成31年2月4日現在)

	宇都宮	鹿沼	日光	小山	栃木	大田原	足利	佐野	合計
予定数	3	2	1	2	3	4	3	10	28
実績	5	7	4	3	4	8	3	5	39
受講者数	151	268	47	69	330	456	130	158	1609

### 課題

- ・概ね計画以上の実績を残すことができた。
- ・一部、PRの場設定の話をいただいたが、開催が平日の午後早い時間であったため対応できなかった等、日程調整がうまくいかなかった事例があった。

## Ⅲ 在宅訪問薬剤師の人材育成事業実績 (平成31年2月4日現在)

	宇都宮	鹿沼	日光	小山	栃木	大田原	足利	佐野	合計
予定数 (回)	24	5	10	20	20	10	35	21	145
実績 (回)	21	5	3	11	4	4	16	3	67
育成した薬剤師の数 (人)	21	5	3	12	4	3	20	3	72

### 課題

- ・育成研修受講者を広く募ったが、業務多忙を理由に希望する薬剤師が少なかった。
- ・ベテランの薬剤師(講師)と受講したい未経験薬剤師とのマッチングがうまくいかなかった事例があった。



## IV 薬剤師訪問ファーストステップ事業実績 (平成31年2月4日現在)

	宇都宮	鹿沼	日光	小山	栃木	大田原	足利	佐野	合計
予定数 (回)	25	15	10	16	25	20	20	5	136
実績 (回)	1	4			4	1	1	2	13

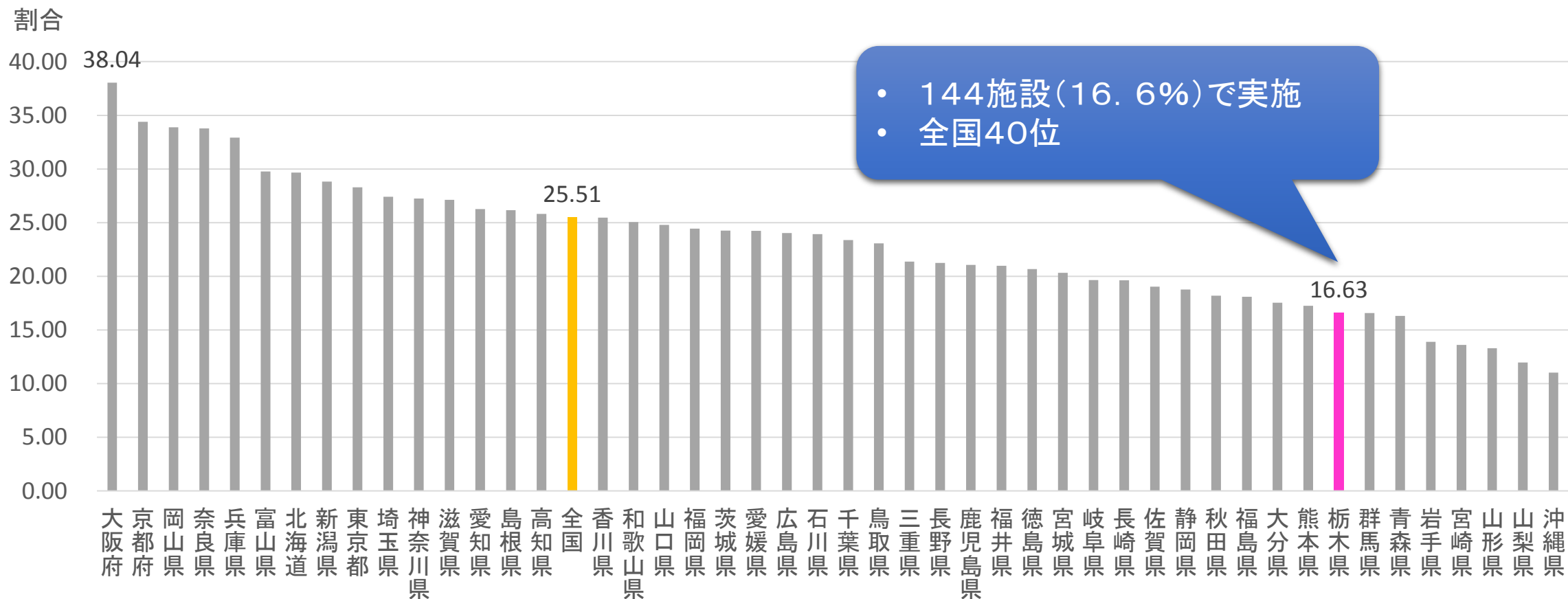
### 課題

- ・多職種の方から紹介いただいたが、患者の同意が得られなかった事例があった。
- ・一度問い合わせをいただいたが、その後の連絡が途絶えてしまった事例があった。

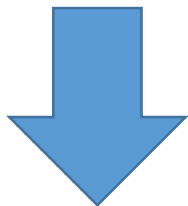
地域	管轄市町	会長名	連絡先	担当者TEL/FAX
黒磯	那須塩原市(旧黒磯市) ・那須町	澤田 麻希 (沢田薬局)	那須塩原市弥生町2-52	0287-62-0393 0287-62-3190
大田原	大田原市・那須塩原市 (旧西那須野町・塩原町)	松本 亨 (まつや薬局)	那須塩原市三島2-12-2	0287-36-3222 0287-38-0214
南那須	那須烏山市・那珂川町	山田 剛 (やまだ薬局)	那珂川町馬頭474	0287-92-2012 0287-92-2012
塩谷	矢板市・塩谷町・ 高根沢町・さくら市	斎藤 安代 (斎藤薬局)	塩谷町船生3188	0287-47-0062 0287-47-0062
鹿沼	鹿沼市	下妻 和彦 (つくも薬局)	鹿沼市万町937-3	0289-60-1655 0289-63-1159
日光	日光市	和貝 益男 (フタバ快生堂薬局)	日光市鬼怒川温泉大原1396	0288-77-1355 0288-77-0880
宇都宮	宇都宮市	石崎 一郎	宇都宮市竹林町968 宇都宮市薬剤師会	028-600-1750 028-600-1751
小山	小山市・上三川町・ 下野市・野木町	山田 利信 (銀星薬局喜沢店)	小山市喜沢652-12	0285-21-1193 0285-21-1194
栃木	栃木市・壬生町	牛久 幸泰 (ウシク薬局箱森店)	栃木市箱森町6-27	0282-24-0539 0282-24-6717
佐野	佐野市	平田 義人 (平田薬局)	佐野市君田町30-3	0283-20-1711 0283-20-1712
足利	足利市	小嶋 慎二 (コジマ薬局)	足利市常見町2-9-11	0284-42-9491 0284-42-4213

# 参考資料 在宅患者調剤加算を算定した薬局の割合（事業開始前）

在宅患者調剤加算を算定した薬局の割合（厚生労働省 施設基準の届出状況（H30.4.1）及び衛生行政報告例から栃木県作成）



- 144施設(16.6%)で実施
- 全国40位



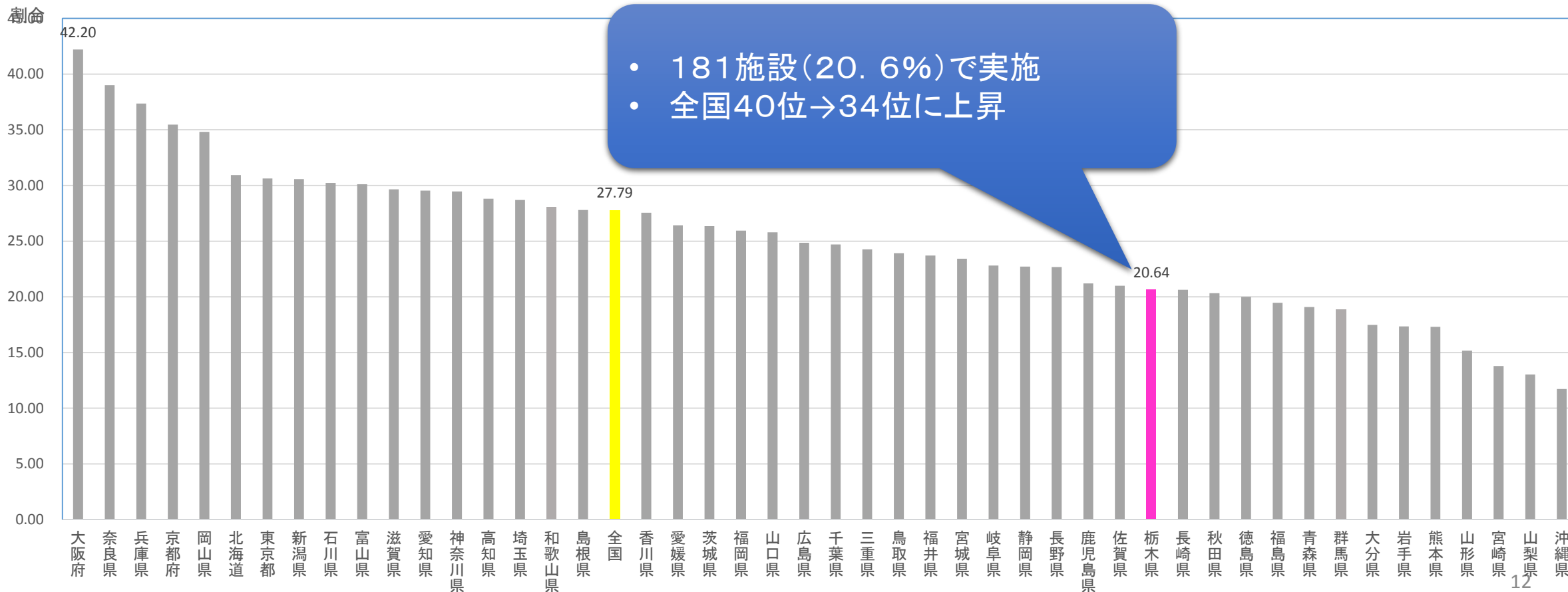
# 参考資料 在宅患者調剤加算を算定した薬局の割合

(厚生労働省 施設基準の届出状況 (H30.12現在) 及び衛生行政報告例から栃木県作成)

## 目 標

### 【県保健医療計画(7期計画)における目標】

- 在宅患者調剤加算を届出ている薬局数の増加
- 2020年度までに220施設(約25%)を目指す



- 181施設(20.6%)で実施
- 全国40位→34位に上昇